

## 日本小児耳鼻咽喉科学会会誌投稿規定

1. 本誌は小児耳鼻咽喉科領域に関連があり他誌に発表されていない論文に限る。本誌の投稿者の筆頭者は日本小児耳鼻咽喉科学会会員に限り、共著者も含めて原則として日本小児耳鼻咽喉科学会会員に限る。
2. 論文の投稿は投稿規定および執筆要項に従い、電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う。実際の投稿の仕方は、投稿 web サイトの投稿マニュアルに記載してあるので参照のこと。投稿 web サイト <http://mc.manuscriptcentral.com/poj> (日本小児耳鼻咽喉科学会ホームページからも移動可)。
3. 投稿原稿は日本小児耳鼻咽喉科学会編集委員会が委託する査読者による査読を受ける。掲載の可否は同編集委員会において決定される。投稿規定以外に関わる事項についてはその都度編集委員会で協議する。
4. 掲載された論文の著作権（複製権、公衆送信権を含む）は日本小児耳鼻咽喉科学会への委譲となる。これらは科学技術振興機構（JST）へ許諾され、電子化されてインターネット上で公開される。
5. 査読後の原稿受理年月日をもって原稿受理年月日とする。
6. 論文の掲載費用は規定枚数を越えた分の印刷費（10,000 円／頁）、カラー印刷を希望する場合のカラー印刷費（40,000 円／頁）を投稿者負担とする。ただし、学術講演会特別企画の記録、論文についてはこの限りではない。
7. 掲載論文の PDF を著者に無料贈呈する。冊子体の別刷を希望する場合には、50 部単位で校正時に注文する（有料）。

---

### 執筆要項

---

- (1) 原稿作成に当たっては、その内容の倫理性に十分配慮すること。人を対象とする医学系研究についてはヘルシンキ宣言を遵守するとともに、内容に応じてインフォームド・コンセントを明記する。個人情報保護法等に抵触しないように十分配慮すること。個人を同定しうる顔写真等を掲載する場合には、目などをカバーし、承諾を得ること。本文中の日付の表記は避け、「△日後」などの表現方法とすること。当該研究が各施設内の倫理委員会の承認のもとに行われたことを明記すること。当該研究に利益相反に関連する事項がある場合には、それを本文の末尾に記載すること。

- (2) 原稿は和文とし、原著、症例報告、もしくは総説とする。
- (3) 原稿は、定められた[テンプレートファイル](#)を用いて作成すること。原稿は刷りあがり 6 頁までを原則とし、6 頁を超えた分は投稿者負担とする。刷りあがり 1 頁は 1600 字に相当し、図表は原則として 1 枚 400 字換算とする。
- (4) 原稿は表紙、英文要旨、和文要旨、本文、文献、図表説明文、表、図、の順とする
- (5) 原稿の表紙には表題、15 字以内の略題（ランニングタイトル）、著者名（ふりがな付き）、所属機関名、所属機関住所、別刷請求先、著者連絡先電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを明記すること。
- (6) 英文要旨は 300 語以内とし、英文タイトル、著者名、所属機関名、5 語以内の英文キーワード、要旨の順に記載する。要旨は native speaker によるチェックを受けたものに限る。なお、総説および学術講演会特別企画の記録としての論文については英文要旨（本文）のみ不要とし、英文タイトル、著者名、所属機関名、キーワードを記載する。和文要旨は 400 字以内とし、5 語以内の和文キーワードを記載すること。
- (7) 図表は原則としてトレースの必要がなく、そのまま印刷できる状態にすること。学会発表時のパワーポイントファイルをそのまま投稿することは避けること。図表の挿入箇所を原稿の本文中に指示すること。図表は 1 点ずつ別紙に作成し、「図 1」「表 1」のように図表番号をつける。図・表は幅 14.5 cm または 7 cm、長さ 20 cm に収まるよう作成すること。
- (8) 文献は引用順に引用箇所の右肩に「〇〇の報告りによると…」のように文献番号を付けること。引用文献数が複数連続する際は<sup>10-13)</sup>のように記載、括弧は最後 1 つ、上付きにて記載すること。
- (9) 文献は下記形式による。著者数は 3 名までとしそれ以上の場合は邦文では、他：とし、欧文では、et al.:を用いて省略する。和文であっても欧文であっても著者間はコンマ、著者と論文タイトルの間はコロンの(:)、論文タイトルの最後はピリオド、雑誌名にはピリオド不要、論文集の書名にはピリオドを付ける。ページの後はピリオドとする。号数は省略せず記載することが好ましい。ページ数も 361-8. と省略せず 361-368. と記載する。邦文雑誌名は省略せず書く。欧文雑誌名は Index Medicus (Medline) の省略方法に準じる。

英文タイトルは文頭のみ大文字、以降の一般語は小文字とする。

投稿中の論文に関してはすでに受理されたものに限る。

●邦文誌例

氷見徹夫, 高野賢一, 山下恵司, 他: 扁桃・アデノイドはなぜあるのか? 鼻はなにをしているのか? —小児の粘膜免疫・粘膜防御最前線—。小児耳鼻咽喉科 2013; 34(3): 239-244.

●欧文誌例

Suzuki M, Furukawa T, Sugimoto A, et al.: Comparison of diagnostic reliability of out-of-center sleep tests for obstructive sleep apnea between adults and children. Int J Pediatr Otorhinolaryngol 2017; 94 (3): 54-58.

●邦文論文集例

古賀慶次郎：小児耳鼻咽喉科学の歴史．小児耳鼻咽喉科診療指針．第 1 版．日本小児耳鼻咽喉科学会 編，金原出版；2009: 2-5.

●欧文論文集例

Murofushi T: Acoustic neuroma and other cerebellopontine angle tumors: detecting a neoplasm in the cerebellopontine angle. In Vestibular evoked myogenic potential, Murofushi T, Kaga K. eds. Springer, New York; 2009: 83-91.

(10) 投稿においては，下記をアップロードする。

1. 原稿（図表を除く）：Microsoft Word 形式（[テンプレートファイル](#)を入手して使用すること）
2. 表：Microsoft Word 形式，または Microsoft Excel 形式
3. 図（グラフ・写真）：  
Microsoft PowerPoint 形式，Microsoft Word 形式（ファイルに貼り付ける場合は解像度に留意すること），PDF 形式，PSD 形式（Adobe Photoshop），AI 形式（Adobe Illustrator）  
※解像度については以下の設定が望ましい。  
[写真] 仕上がりサイズ 300 dpi [線画] 仕上がりサイズ 1000 dpi
4. 著作権譲渡同意書
5. 筆頭演者（著者）の利益相反自己申告書（様式 1）。なお，利益相反に関する詳細については，「日本小児耳鼻咽喉科学会の利益相反に関する指針」を参照のこと。

問合せ先：

1. 小児耳鼻咽喉科編集事務局  
中西印刷株式会社内  
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入  
電話：075-441-3155  
FAX：075-417-2050  
E-mail: poj-ed@nacos.com
2. 編集担当理事・編集委員長 二藤隆春  
東京大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
E-mail: tnito-tky@umin.ac.jp